

製品安全データシート (MSDS)

作成 2012年3月25日

製品名 HB セラミックス (炭素セラミックス)

1. 製品及び会社情報

製品

製品の名称 : HB セラミックス

供給者情報

会社名 : 株式会社 TAMOTSU

住所 : 福岡県福岡市中央区大名 2 丁目 9 番 29 号

電話番号 : 092-406-2318

FAX 番号 : 092-406-2319



2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

危険性 : セラミックは固体状態では不燃性であり火災の危険は低い。

有害性 : 粉塵等が皮膚や目に接触した場合、刺激を受ける可能性がある。

環境影響 : セラミックに関する知見はない。

GHS 分類

該当なし。

GHS ラベル要素

該当なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物 (セラミック)

セラミックの成分及び濃度等

成分	化学式	CAS 番号	PRTR 法の 号番号	労働安全衛生法 施行令番号	組成 W%
酸化アルミニウム	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1344-28-1	N/A	別表 9-189	29-30
酸化けい素(IV)	SiO <sub>2</sub>	7631-86-9	N/A	別表 9-312	24-25
全炭素	C	7440-44-0	N/A	N/A	24-25
酸化カルシウム	CaO	1305-78-8	N/A	別表 9-190	8-9
酸化マグネシウム	MgO	1309-48-4	N/A	N/A	4-5

加熱水分	H <sub>2</sub> O	N/A	N/A	N/A	2・3
酸化鉄(Ⅲ)	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1309・37・1	N/A	別表 9・192	1・2
三酸化硫黄	SO <sub>3</sub>	7446・11・9	N/A	N/A	1・2

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

- ・高い濃度の粉塵等を吸入したり、作業者に呼吸器系の症状（咳、喘ぎ、息切れ等）が現れたら、職場から移動させ隔離する。もし呼吸困難な場合は酸素吸入をする。呼吸が停止している場合は、直ちに人工呼吸を行うと共に、医師の診断／手当てを受けさせる。
- ・万一、刺激や発疹が続く場合は、医師の診断／手当てを受けさせる。

##### 皮膚に付着した場合

- ・皮膚に粉塵が付着した場合は、付着部を石鹼水で十分に洗浄する。刺激や発疹が発生するようであれば、医師の診断／手当てを受けさせる。

##### 目に入った場合

- ・粉塵等が目に入った場合は、直ちに清浄な流水で洗い流すこと。もし刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けさせる。

##### 飲込んだ場合

- ・多量に粉塵等を飲込んだ場合は、大量の水を摂取して希釈後、医師の診断／手当てを受けさせる。

#### 5. 火災時の措置

##### 消化剤

- ・セラミックは不燃性であり火災の危険性は低いですが、これによる火災の場合は、ABCタイプ（一般、油、電気火災用）の粉末消火器または水を用いて消化する。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項

- ・粉塵等を清掃する人は、人体への暴露を最小限にするための服装と呼吸保護具等の装備をする事が望ましい。

##### 環境に対する注意事項

- ・粉塵等は産業廃棄物として処理する。

##### 除去方法

- ・粉塵等については、微粒子を高効率で回収できるフィルターを装備した掃除機等を使って除去する。適当な除去方法がない場合は、霧状の水または濡れた布類で湿らせて除去する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- ・セラミックは安定した物質であり健康への影響はほとんどないが、セラミックを含む粉塵等に長時間または繰り返し接触すると、肌荒れを生じるおそれがある。
- ・セラミックの移動等を行う場合は、粉塵の飛散が考えられるため、局所排気装置等の設置や保護具の使用により、人体への暴露を最小限にする。
- ・飲食や喫煙の前には十分に手を洗う。取扱場所で飲食や喫煙をしない。
- ・定期的な健康診断の実施を推奨する。

### 保管

- ・室内に乾燥状態で保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 許容濃度

成分	化学式	OSHA PEL mg/m <sup>3</sup>	ACGIH TLV mg/m <sup>3</sup>	日本産衛学会 mg/m <sup>3</sup>
酸化アルミニウム	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	5	10	その他
酸化カルシウム	CaO	5	2	その他
酸化鉄 (III)	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	5 (呼吸性画分) 15 (総量)	5	1 (呼吸性粉塵) 4 (総粉塵)

### 保護具

- ・呼吸器の保護具 : 粉塵に対する防塵マスクや呼吸保護具を推奨する。
- ・手の保護具 : 粉塵に対する保護手袋の着用を推奨する。
- ・目の保護具 : 粉塵に対する保護めがねの着用を推奨する。
- ・皮膚および身体の保護具 : 皮膚との直接接触を避ける。  
付着した粉塵を取り除くため、衣服・布切れ等は振り払わずに、洗濯や適切なフィルターを使用した吸引によって取り除く。  
汚染された衣服は新しいものに着替える。  
局所排気装置を推奨する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 黒色の固体
- 臭い : 無臭
- pH : データなし

融点	:	データなし
沸点	:	データなし
引火点	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
比重	:	0.6
溶解度	:	不溶性

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

- ・当該製品は固体状態であり、製品のままで爆発性、引火性、可燃性、自然発火性、禁水性、酸化性はなく、通常的环境下では化学的に安定している。

### 危険有害反応の可能性

- ・該当なし。

### 避けるべき条件

- ・衝撃、振動を避ける。
- ・投下、落下を避ける。

### 混触禁止物質

- ・該当なし。

### 危険有害な分解生成物

- ・なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

- ・製品のデータ : データなし

### 皮膚腐食性/刺激性

- ・製品のデータ : データなし

### 目に対する重篤な損傷・刺激性

- ・製品のデータ : データなし

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

- ・製品のデータ : データなし

### 生殖細胞変異原性

- ・製品のデータ : データなし

### 発がん性

- ・製品のデータ : データなし

### 生殖毒性

- ・製品のデータ : データなし

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）

- ・製品のデータ：データなし

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

- ・製品のデータ：データなし

吸引性呼吸器有毒性

- ・製品のデータ：データなし

## 12. 環境影響情報

移動性

- ・セラミックに関する知見はない。

残留性

- ・セラミックに関する知見はない。

生態蓄積性

- ・セラミックに関する知見はない。

環境影響

- ・セラミックに関する知見はない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- ・廃棄する場合は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」等の産業廃棄物に関する法律および地方自治体の関連条例に従って処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号：非該当

国連分類：非該当

海洋汚染物質：非該当

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

- ・酸化アルミニウム

：法 57 条の 2、施行令 18 条の 2、別表 9 名称等を通知すべき有害物 No.189

- ・酸化けい素(IV)

：法 57 条の 2、施行令 18 条の 2、別表 9 名称等を通知すべき有害物 No.312

- ・酸化カルシウム

：法 57 条の 2、施行令 18 条の 2、別表 9 名称等を通知すべき有害物 No.190

- ・酸化鉄(III)

:法 57 条の 2、施行令 18 条の 2、別表 9 名称等を通知すべき有害物 No.192

## 16. その他の情報

特になし。

### 記載内容の取扱い

本データシートに記載された内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成したものであり、新しい知見により変更される場合があります。含有量、物理的／化学的性質等の数値は保証地ではありません。また、注意事項は通常の見扱いを対象としたものであり、安全を保証するものではありません。

### 参考 URL

- ・ 経済産業省 : <http://www.meti.go.jp>
- ・ 環境省（特定化学物質排出管理促進法） : <http://www.env.go.jp>
- ・ 厚生労働省（労働安全衛生法） : <http://www.mhlw.go.jp>
- ・ ICSC カード : <http://www.nihs.go.jp/ICSC/>
- ・ 製品評価技術基盤機構 : <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

初回作成	2010 年 9 月 13 日	
------	-----------------	--